

土木部課長異動評

H O 生

新潟縣土木部長荒木榮二君の日本發送電株式會社入りと

岡山縣土木部長竹内常八君の病氣退官並本省金子第二技術

課長昇格に伴ふ府縣道主任技師補充に伴ふ異動が八月四日付で何れも左の通り發令された。

任地方技師(三等) 山口縣土木課長を命ず

靜岡縣道路課長 高良末綱

任地方技師(三等) 山梨縣土木課長を命ず

兵庫縣工營課長 小池啓吉

長崎縣土木課長 淺見洋

任地方技師(五等) 栃木縣土木課長を命ず

補新潟縣土木部長 山口縣土木課長 鈴木健二

退官した荒木君は大正六年東大工學部卒業後新潟、秋田、

補岡山縣土木部長 栃木縣土木課長 井關正雄

大阪、奈良、富山の各府縣に歴任し地方土木行政に幾多の

任内務技師(三等) 土木局勤務を命ず 山梨縣土木課長 尾崎義一

功績を残し、今回内務省の技術系を代表して日本發送電入

長崎縣土木課長を命ず 中華民國內閣臨時政府建設總署參事 田寺元治

りをした次第であるが、役人の足を洗つたことでもあるか

ら今迄の所謂水清ければ魚住ますの性格を若干修正し、國策會社の幹部として大いに其の奮闘を祈る次第である。

に竹内君は大正六年京大土木工學科卒業後永く北海道廳に奉職し、昭和二年島根縣土木課長に轉出、鹿兒島、埼玉兩縣を経て本年四月岡山縣土木部長に就任したばかりであるのに、病氣の爲あの仕事に熱意のある人物を斯界より失ふの止むなきに至つたことは甚に遺憾に堪へない。折角其の靜養を祈る次第である。

○井關内務技師 山形縣出身、大正十二年東大工學部卒業、横濱市、靜岡縣を経て昭和十年香川縣土木課長、同十二年栃木縣土木課長、今回多數の候補者中より拔擢せられて本省入りを爲し、金子第二技術課長昇格の後任として複雑なる府縣道關係の主任技師に納まることとなつた。同君は明朗穩健府縣の實情に精通し、又よく事務官とも調和を圖り手際よく仕事を片付けて行くであらうと見られ、從來の型を破つて若い中堅所をあのポストに持つて來た人事は評判が良い。

○淺見新潟縣土木部長 兵庫縣の出身前荒木部長と同年の京大土木工學科出、卒業後渡米コーネル及イリノイ大學

にて研究歸朝同八年内務技師となり、暫らく土木局に居つた後信濃川分水工事や神通川改修の現場主任に苦勞をして、同十三年一躍大縣の長野縣土木課長に出たのが地方稼きの始まり、然るにどう云ふ風の吹き廻しか其の後鹿兒島、福島、福井、長崎などだん／＼仕事の少い縣に不平をかこつ身となつた。部制が増して同期や後輩がドン／＼昇格する。豈腐らざるを得んやである。されど待てば海路の日和とやら、折角御氣嫌を直して若かりし長野縣時代のあの熱意を取り戻し大いに奮闘して貰ひたい。

○鈴木岡山縣土木部長 新潟縣出身、三重の上井君と同期の大正九年東大工學部出の新進組、法學士の肩書も持つてゐる。土木部課長中での變り種で豪傑肌、坊主刈りの五尺に足らぬ小男だが、面魂は和製ムソトリニ似て強心臟の持主。土木の事なら經濟部長の方から相談に來いといつた調子。上井君とは何れ劣らぬ手八丁の仕事師。山口縣に部制を新設して折角やりかけた同縣の大土木事業の完成に心血を注がせたかつた。學校卒業後の經歷は土木局、大阪

府道路課長、當土木局在任中自費で世界のアチラコチラを視察して居る。

○尾崎長崎縣土木課長 福井縣の出身、大正十年九大工學部卒業後東京府に入り橋梁のエキスパートとして自他共に許す存在である。昭和十三年初めて山梨縣土木課長に出たが永らく東京府にあつて金の心配をした事のない御坊ちやんが、財政の苦しい山梨縣ではあんまり仕事も出來ず、さぞつらかつたことであらうが、これで色々の體驗を得て立派な地方の土木課長の修養をつんだわけ。新任地には色々の仕事がつつてゐる折角其の奮闘を祈る。

○田寺山口縣土木課長 東京市出身、大正十年東大工學部卒業、東京市及復興局にありて帝都復興事業に従事し、昭和四年東京府道路技師となる。昭和十年出て、山梨縣土木課長、同十三年五月北支臨時政府建設總署參事となりて東亞新秩序建設の第一線に勇躍奮闘を續けて來たが急に山口縣土木課長として歸り咲く事となつた。同縣は戸塚、鈴木の名コンビで随分大土木事業に手をつけてゐるので大いに働き甲斐のあることと思ふ。

○高良山梨縣土木課長 大正八年東大工學部出身、卒業

後滿鐵に永らく居つたが、昭和二年島根縣に土木技師として官界生活に入つた。昭和十年靜岡縣道路課長となり今日に及んだ。同君は性磊落落に面白い人物であるが、新任地は前任地に較べ色々の點で中々六ヶ敷い縣であるから緊權一番細かい事にも留意してやつて貰ひたい。敢て老婆心までに申置く。

○小池栃木縣土木課長 富山縣の産、大正十年東大工學部出身、永らく東京市にありて昭和八年富山縣土木技師となる。同十二年兵庫縣工營課長、目から耳に抜ける隼のやうな男。昨年の神戸地方大水害復興計畫樹立の功勞者の一人。西前土木部長の榮轉と同時に發令を待つて居つたが、事情あつて大分遅れたのは氣の毒であつた。同君の去るや兵庫縣では工營課をブツ潰してしまつた。思を茲に致しあんまり切れ過ぎてはいけませんぬ。

○ 今回の土木部課長の異動は大體無難で順當と認められるが、専門學校出身者に一人の榮轉者もないことが寂しい。大學関に偏するとは考へないが適材の掘出しに一層の努力が望ましく。